

瀨上建設工業  
福永建設

# 県内初 電気防食工法を採用

## 徳之島で橋梁補修現場見学会

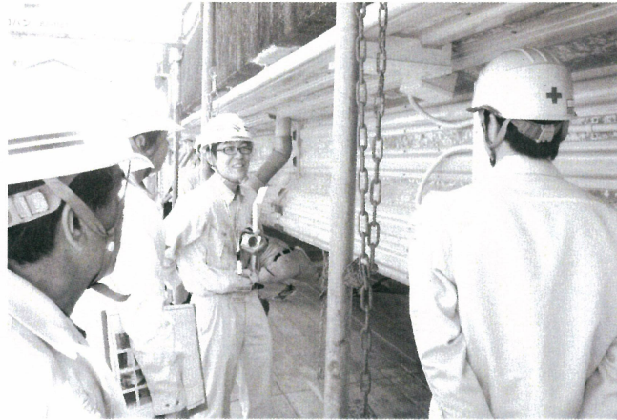
瀨上建設工業(株) (瀨上平八郎社長、徳之島町)と(株)福永建設 (福永健三社長、同) はこのほど、同町亀津で両社が施工する橋梁補修(新里橋)の現場見学会を行った。橋梁での採用は県内初という電気防食工法について

知識を深めた。両工区の施工完了を受け実施したもので、発注者の徳之島町など島内3町、県大島支庁徳之島事務所、工事の関係者など34人が参加した。現場に導入された「TCユニット方式電気防食工法」は、国産の安価な陽極材を使用し、作業員への安全性を高める工法

として、オリエンタル白石(株)と(株)ナカボーテックが共同開発。陽極を外部に出すことにより、①構造物を傷つけない②粉じん発生がない③重機・重量物使用が不要④工期の大幅短縮などの特長がある。

担当者らは、工法概要や工事の流れ、施工イメージなどの説明を通して、工法のアピールに努めていた。

施工状況を見学する関係者＝徳之島町と亀津の現地



発注した徳之島町の亀澤貢建設課長は「社会インフラの老朽化に対する維持管理は今後ますます重要になる。有効な手段の一つとして、積極的に活用していきたい」と話した。